

支出項目 政務活動費 調査研究費

元 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	2 ~4	行政視察 (兵庫県宍粟市、姫路市、明石市)	✓ 167,250	167,250
10	18	行政視察 (藤沢市) (新倉)	✓ 400	167,650
		合計	167,650	

# 政務活動報告書

令和2年3月31日

茅ヶ崎市議会議長  
水島 誠司 様

(会派名) 新政ちがさき

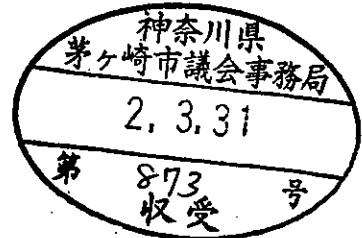
(氏名) 岸正明

新倉 真二

早川 仁美

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年7月2日(火)～7月4日(木)
目的 地 (研 修 地)	兵庫県宍粟市、兵庫県姫路市、兵庫県明石市
政務活動の結果	別紙のとおり



## 出張旅費計算書

摘要	新政ちがさき行政視察のため 兵庫県宍粟市、兵庫県姫路市、 兵庫県明石市へ			出張者 氏名	岸 正明、新倉 真二、早川 仁美		
期間	令和元年7月2日から 令和元年7月4日まで 3日間			随行者 氏名	なし		
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—小田原 (JR東海道本線)	1	1	585.7	9,290 ✓	√5,060	14,350	
小田原—新大阪 (JR東海道新幹線)							
新大阪—姫路 (JR京都線)							
姫路—宍粟市役所 (神姫バス)							
宍粟市役所—姫路 (神姫バス)							
姫路—明石 (JR神戸線)	1	1	35.4	670		670	
明石—新大阪 (JR神戸線)	1		550.3	8,750	5,060 ✓	13,810	
新大阪—小田原 (JR東海道新幹線)							
小田原—茅ヶ崎 (JR東海道本線)							
計	3	2	1,233	20,930	10,120	√ 31,050	
	日数		単価(円)				
日当	3		2,400		7,200 ✓		
宿泊料	1		7,000		7,000 ✓		
宿泊料	1		6,500		6,500 ✓		
夕食代	2		2,000		4,000 ✓		
合計	55,750		× 3		√ 167,250		

# 新政ちがさき 兵庫県宍粟市視察報告

日 時 令和 元年 7月 2日 (火)  
午後1時30分～  
場 所 宍粟市役所 503会議室

## 1. 開 会

2. 宍粟市議会議長挨拶 東 豊俊 議長

3. 茅ヶ崎市議会挨拶 岸 正明 代表

4. 視察事項 (1) 道の駅の整備と運営について  
説明者 宍粟市 産業部 まち・にぎわい課 西川課長

## 4. 質 疑

## 5. 閉 会

## 6. 特記事項

宍粟市は、コンビニや小売店がない時期に、道の駅が、はやり始め、合併前のそれぞれの町が道の駅を開設した。町民は日常の生活のため利用していた。瀬戸内・鳥取をつなぐ国道29号が運搬や観光の道路、主要幹線だったため運営は順調であった。その後、平成の大合併があり、道の駅を5つ運営することとなったが、宍粟市役所の近隣の道の駅は借地のため、やむなく閉鎖し、現在は、4つの道の駅を指定管理者が管理している。

しかし、コンビニ等ができ、さらに、隣の町域に瀬戸内と鳥取を結ぶ高速道路ができてからは、経営は厳しい状況が続いている。現在は、特色のある道の駅になるよう検討中である。

# 新政ちがさき行政視察報告書（姫路市）

担当 新政ちがさき 新倉真二

1. 日 時 令和元年7月3日（水）10:00～

2. 訪問先 姫路市役所

3. 視察者 代表：岸正明・新倉真二・早川仁美

4. 対応者 姫路市消防局

## 5. 姫路市概要

(1) 市制施行 明治22年4月1日

(2) 行政面積 534.35km<sup>2</sup>

(3) 世帯数 219,840世帯（平成31年4月1日）

(4) 人口 530,309人（平成31年4月1日）

## 6. 視察内容

「まもりんピック」について

- ・姫路市の概況:集落分布、人口変化、高齢化振興状況など。
- ・「まもりんピック」開催の経緯
- ・「まもりんピック」への地域住民の参加状況
- ・実施競技種目の選定と改良、開催上の課題など

## 7. 視察所感

姫路市は防災と地域づくり、体育振興を融合させた「まもりんピック」を開催し続けているが、幅広い年齢層と広い市域からの参加などをどう実現させてきたかをお聴きすることができた。

茅ヶ崎市に即座に導入することは難しいと思われるが、子どもからお年寄りまで参加可能な競技事例など、茅ヶ崎市にとっても好例である。

## 新政ちがさき会派視察報告書

岸正明、新倉真二、早川仁美

1. 視察日時

令和元年 7 月 4 日（木曜日） 10 時 00 分から 12 時 00 分

2. 視察先

兵庫県明石市

3. 視察事項

(1) 明石市のこども総合支援の取組について

4. 視察概要

(担当 早川仁美)	
視察先選定理由	明石市は、子どもを核とした街づくりを進めている先進市。 さまざまな施策を総合的かつ継続的に推進するために「明石市こども総合条例」を平成 29 年 4 月 1 日に施行している。その概要について学ぶため。
内 容 ・ 事業概要 ・ 効果、推移 ・ 課題 ・ 今後の方向性	<p>・ 2011 年、現市長が就任してから、すべての子どもたちを市民みんなで本気で応援する、そんなまちこそが発展するという市長の強い思いから子育て支援策を次々に実施した。</p> <p>・ 明石市は、神戸や大阪への交通の利便性が高く、家賃相場も周辺より安いベッドタウン。市民のニーズは大学や企業の誘致より子育て支援の充実で、それに答えることが市の発展にもつながると考えた。平成 25 年には、290,349 人まで人口が減少したが平成 26 年から回復し、平成 31 年には約 299,000 人となった。子育て中間層の転入が増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 明石市のまちづくりの基本理念               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 すべての子どもたちを（支援対象に）誰一人として見捨てない＊貧困家庭限定</li> <li>2 まちのみんなで（支援の責任主体）行政も地域も一緒に＊親だけの責任</li> <li>3 子ども目線で（支援の視点）その子に寄り添う＊行政や親目線</li> <li>4 本気で応援（支援の内容程度）あれもこれも本気で＊予算の範囲内</li> </ol> </li> <li>● 3つの無料化 保育料 第2子以降は完全無料 医療費 中学生まで完全無料 遊び場 親子ともに利用料無料</li> <li>● 子育て環境の充実化 保育園整備 毎年度 1000 人の受け入れ増 31 年は 2000 人 少人数学級 30 人学級の段階的实施 本のまち 図書館を明石市駅前に新設（利便性が良い）</li> <li>● セーフティーネットの確立 離婚前後の子ども支援（面会交流、養育費確保） 児童扶養手当の毎月支給 無戸籍者支援 あかし版子ども食堂（28 小学校区に開設） 里親 100 パーセントプロジェクト 児童相談所の設置</li> </ul> <p>上記のような支援を今後も継続していくことを担保するために →明石市こども総合支援条例を策定し、平成 29 年 4 月に施行した。</p>

**条例制定に至る経緯**

趣 旨 ・子どもの健やかな育ちをしっかりと応援していくことによって「こどもを核としたまちづくり」を推進する中でその取り組みを総合的かつ継続的に推進し、より効果的な支援を図るため、条例を制定するもの。

・条例の制定により、子ども支援に関する基本理念等の浸透を図り、市民をはじめとする市全体の連携協力によって、子どもの最善の利益を実現するもの

スタンス ・子どもにかかわる各主体の果たすべき役割等を明確にすることから、幅広く関係機関の意見を聞きながら策定する。

・当事者も含めて様々な方面からの意見を取り入れ市民の思いの詰まった条例にする。

・市議会に対して制定の進捗状況を丁寧に説明していくなど協力して策定する

スケジュール ・骨子は職員の弁護士を中心に作成

・約1年をかけて、関係機関等、子ども子育て会議意見聴取、市議会に説明、小学生、中学生、高校生からの聞き取り、パブコメ、市議会審議可決

**条例の特徴**

- (1) 市が進める特色ある施策の明文化
- (2) 支援の対象はすべてのこども
- (3) 支援の主体はすべての人
- (4) 支援の方法は幅広く
- (5) 市民党の声を反映させた条例

**考 察**

- ・本市との比較
- ・本市への事業導入の可能性
- ・今後の検討内容

明石市は、すべての子どもの健やかな育ちを行政、親だけでなく地域のみならず本気で応援するということを前面に出した施策をしている。一人でも困っている子どもがいればその子どものためだけにでも施策を展開する。一人も取り残さないという姿勢がすごいと思う。また、市長のトップダウンのイメージが強い明石市だが子どもを核とした街づくりをしたら、街に活気が出て元気になっていくことが理解できた。

人口約30万人と面積が約50k㎡と本市より一回り大きい、海に面した大都市のベッドタウンで発展してきたところは似ている。

本市の子育て支援は、医療や中学校給食など、全国的には後れを取っている面もあるが、高齢化率が年々上昇している、バランスが必要だが、未来を支えていく子どもたちを支えるのは未来への先行投資。やっとな進みだした施策を後退させない玉枝にも、本市にも子ども施策を担保するような条例が必要だと思ふ。

# 領 収 証

No. 000190

新政府がさき様

西暦

2019年6月25日

金額			百	7	千	4	0	5	00	円
----	--	--	---	---	---	---	---	---	----	---

但し 乗車券 回数券 オレンジワンコインパス  
通勤定期券 通学定期券 (No. )

7/2日 2泊朝食付宿泊代 12500円 代金として

上記の金額を領収いたしました

収 入  
印 紙

株式会社江ノ電

神奈川県藤沢市片瀬海岸一丁目8番16号



担当者



# 政務活動報告書

令和2年3月31日

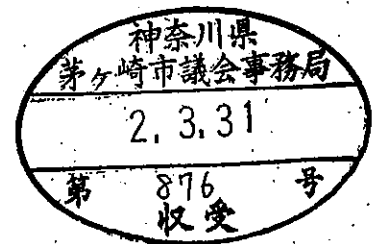
茅ヶ崎市議会議長  
水島 誠司 様

(会派名) 新政ちがさき

(氏名) 新倉 真二

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月18日(金)
目 的 地 (研 修 地)	藤沢市役所(神奈川県藤沢市朝日町1番地の1)
政務活動の結果	別紙のとおり



## 出張旅費計算書

摘要	神奈川県藤沢市役所 議会報告会・意見交換会（カフェトークふじさわ）の運営について （政務活動費）			会派	新政ちがさき		
期日	令和元年10月18日			氏名	新倉 真二		
経路	日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）	
茅ヶ崎—藤沢 （JR東海道線）	1	/	7.5	200	-	200	
藤沢—茅ヶ崎 （JR東海道線）			7.5	200	-	200	
計	1	-	15.0	400	-	(A) ✓ 400	
日当	日 × @				(B)		
合計	(A)+(B)			400	×	1人	✓ 400

# 新政ちがさき広報広聴視察報告書（藤沢市）

担当 新政ちがさき 新倉真二

1. 日 時 令和元年10月18日（金）14:00～

2. 訪問先 藤沢市役所

3. 視察者 新倉真二

4. 応対者 藤沢市議会 柳田秀憲広報広聴委員長

## 5. 藤沢市概要

(1) 市制施行 昭和15年10月1日

(2) 行政面積 69.56km<sup>2</sup>

(3) 世帯数 192,025世帯（令和2年4月1日）

(4) 人口 435,121人（令和2年4月1日）

## 6. 視察内容

議会報告会・意見交換会について

- ・「カフェトークふじさわ」開催の経緯
- ・「カフェトークふじさわ」の開催状況
- ・今後の開催上の課題など

## 7. 視察所感

茅ヶ崎市議会では議会基本条例を平成23年4月に茅ヶ崎市議会基本条例が施行して以来、議会報告会及び意見交換会の開催、一般質問における一問一答方式の導入、常任委員会単位で政策提言等を目指す「政策討議」など、市民に開かれた議会へ向け取り組んできている。

茅ヶ崎市議会は議会報告会・意見交換会の開催については先進市ともいえ、開催当初には藤沢市から数名の市議会議員が訪れたこともある。しかし全国的に議会報告会・意見交換会が盛況に開催されているところは少なく、茅ヶ崎市議会にとっても新しい参加者や活発な意見交換は課題である。

藤沢市議会にとっても新しい参加者や活発な意見交換は同様に課題であったため、「ワールドカフェ」方式を取り入れてある程度成功しているというところで、運営する際のポイント、現在の課題などを伺った。

ポイントとなるファシリテーター(運営者)とグループリーダー(G進行役)が教授・学生であることによるメリットが大きく、茅ヶ崎同様の参加者マンネリ化から全く逃れているわけでもないことも分かった。

私見では参加者マンネリ化を避け活発な意見交換を行うには、何よりテーマの選定が重要で、今までの茅ヶ崎市の取り組みでも良いテーマのときには新しい参加者や活発な意見交換が行えており単に「ワールドカフェ」方式にすればよいというものではないのではないだろうか。

ただし仮に中学生・高校生を対象に選挙や文化・体育施設について意見交換会を行うとすれば、藤沢市議会の「ワールドカフェ」方式、或いは「グループワーク」方式を取り入れることには大きなメリットがありそうである。

市議会が持つツールとして「ワールドカフェ」方式、或いは「グループワーク」方式ができるようになることは有用であり、そのために参考となる点も少なくなかった。ポスターその他も好例である。

以上